

学校評価シート（自己評価）

令和2年3月26日

1. 園の教育目標

人間形成の基礎となる大切な時期の幼児期に幼稚園という集団生活の中で様々なことを体験して自ら感じたこと、思ったことを素直に表現し、行動することで生きる力を育む。

「うれしい時には笑い、かなしい時には涙を流し、くやしい時には闘志を燃やし、心豊かに生きる力を育てる」

2. 具体的な目標や計画

「心豊かに生きる力を育てる」

- ・幼稚園という集団生活の中で様々なことを体験して自ら感じたこと、思ったことを素直に表現し、行動する
- ・子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、健やかな成長を目指す。

3. 評価項目の取り組み及び達成状況

評価項目	結果	結果の理由
保育の計画性	B	子どもたちの成長に合わせた1年間のカリキュラムを立て、行事や学習に取り組み、昨年の反省・課題を見直したところスムーズに活動することができた。
保育の取り組み	A	各家庭・保護者との連携を大切にし、信頼関係の向上に努め、教職員間でも園児一人ひとりの

		<p>情報を共有し、チームワーク良く、保育することができた。</p>
<p>教職員の処遇改善</p>	<p>B</p>	<p>日々の保育等、行事の準備の効率化を図り、教職員の就労時間の遵守を目指し、無理のない範囲で改善することができた。</p>
<p>子育て支援事業の充実</p>	<p>A</p>	<p>未就園児教室の回数を多く設け、多くの保護者の方の幼稚園に関する情報を伝えることができた。また保護者同士の交流の場として、求められるニーズも知ることもできた。</p>
<p>安全点検や 防災対策の見直し</p>	<p>B</p>	<p>園の建物・遊具・設備等の点検を行い、危険な箇所については迅速に対応し、除去・修繕をした。防災についても年三回の訓練を行っている。</p>

4. 具体的な目標や計画の総合的な評価の結果

結果	理由
B	<p>保育を行う中で、子どもたちにとって何が必要なのかを常に考え、一人ひとりの成長の状態に合わせた活動内容を昨年の反省や課題をもとに考えていくことができた。教職員全員が一丸となり、情報を共有したことにより、子どもたちの個性が引き出され、より良い保育ができるように心掛けた。</p>

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育の計画性	<p>各家庭・保護者との連携や教職員同士の連携を大切にし、子どもたち一人ひとりの理解に努め、主体的な活動ができるよう配慮しながら、指導計画を作成していくことに努める。</p>
教職員の処遇改善	<p>教職員の残業時間を短縮できるよう、作業の効率化を図り、当番の見直しを行い、就業時間の遵守を目指す。</p>
安全点検や防犯・防災対策の見直し	<p>園の建物・遊具・設備等の点検を行い、修繕の必要な箇所には迅速に対応する。防犯・防災についても他所で起きた前例をもとに意識し、対応を考え、実施に努める。</p>

学校評価シート（学校関係者評価）

学校関係者評価委員会

日時 令和2年6月3日（水）

時間 16:00～17:00

出席者 評価委員（保護者） 2人

評価委員（評議員） 2人

1. 自己評価で設定した目標・計画・評価項目の設定は適切であったか

概ね適切だと思います。

園の目標が日々の保育に反映されており、子どもたちの個性を教職員同士で共有し、子どもたちの健やかな成長を育むことができたと思われます。

2. 評価結果の内容は適切であったか

概ね適切だと思われます。教職員全員が一つになって日々の保育、行事等に取り組んでおり、クラス担任だけでなく園全体で子どもたちを理解しているため、子どもたちにより良い保育ができているように感じる。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

反省や自己評価の結果などが今後の課題にされており、適切であると思われます。これまで大切にしてきた園全体での子どもたちの理解、保護者との連携を引き続き行い、子どもたちの個性がより引き出せるように計画されている。また教職員の処遇も示されており、働きやすい環境もつくられている。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

課題に向き合い、日々保育等の中で適切に行っていると思われます。課題に対して計画を立て、作業の効率化を図り、就業時間の遵守に努められている。